

<平成22年度事業報告書>

(概況)

当協会は2010年5月6日から一般社団法人として生まれ変わり今回初めての決算を迎えた。社団法人としての最終日である5月5日時点において保有していた4,666万円強の正味財産は、全て公益目的に供出することが求められ、一般社団法人としては零ベースでの再スタートを強いられることとなった。そして、2013年度に開催される東京国体が正式に決定し、ボート競技については江戸川区が会場地となり、平井大橋上流の荒川で9月11日から15日までの開催となった。そこで協会としては、この東京国体を万全の体制で開催できるよう国体準備事業を公益目的支出事業として認めてもらい今年度から事業着手したところである。

一方、協会を取り巻く環境を眺めてみると、加盟団体や登録選手の減少という大きな流れの中にあって、東京都教育委員会指導部の熱意により、都立高校にボート部が復活できたという事実は特筆すべきことであろう。しかるに、ウォーターフェアに代表されるような公的補助を前提とした大会やボート教室については、バブルが弾けた今となつては、自主自立が求められ縮小均衡の方向性は避けられない状況といえよう。

以上のような背景の中で2010年度取り組んだ各事業は以下の通りである。

1. 東京国体準備事業

(1) 東京国体 PR 事業

お台場レガッタ、荒川レガッタやウォーターフェアレガッタおよび各ボート教室において、パンフレットに東京国体の開催を告知したり、飯田橋や東墨田でボートイベントを新規に立ち上げた。

(2) 育成研修事業

東京国体スタッフ予定者を集めて集合教育を実施したり、千葉国体やブロック国体にスタッフ予定者を研修生として派遣した。

2. 競技開催事業

別紙1の通り競技会を開催した。

3. 普及事業

東京都民を対象として、ボートを体験する機会を提供するとともに、ボート競技の普及及び競技人口の増加につなげるためにボート教室と市民ボート大会を開催した。

(1) 平井運動公園にて荒川レガッタ実行委員会とともに「荒川レガッタ」を開催した。

(2) 旧中川下流で「ふれあいレガッタ」を開催した。

(3) 多摩川で「多摩川レガッタ」を開催した。

(4) 旧中川上流で「東墨田レガッタ」を開催した。

- (5) 旧中川・多摩川・水元公園・越中島でボート教室を開催した。
- (6) 「多摩川ウォーキングフェスタ」「江戸川区民まつり」「世田谷区民スポーツ祭り」会場においてマシンローイング大会を開催した。
※江戸川区民まつりは雨天中止。
- (7) 水元公園で「水元公園ローイングフェスタ」を開催した。

4. 強化事業

- (1) 東京都代表クルーの関東ブロック大会および国体の結果は別紙2の通りであった。
- (2) 当協会所属選手の海外大会への参加状況は別紙3の通りであった。
- (3) 東京国体に向けて選手の強化、競技力向上を図った。(国体候補選手強化事業)
- (4) ジュニア選手を対象に強化合宿・講習会を行った。(ジュニアアスリート発掘事業・ジュニア特別強化事業・ジュニア育成地域推進事業)